

授業科目名	臨床医学各論Ⅱ		科目コード	201019		
開講クラス	診療情報管理士科	コース	コース	学 年	1 年	
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)			
	実務経験内容 医師として病院に勤務 医師としての臨床経験を活かし、新生物の発生組織、・臓器、良性・悪性、原発性、続発性、転移性など新生物の概要を理解させる授業を行う					
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1 単位		
使 用 テキスト 1	書 名	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
使 用 テキスト 2	書 名	診療情報管理士教育問題集 基礎・医学編				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習					
<p><授業の目的・目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生物（腫瘍）は身体のすべての臓器・組織に発生する疾患として、全診療科で扱われる重要な疾病群である。したがって、新生物の分類、診断法、治療法は、その性質、発生部位等から多岐にわたることを理解することを目的とする 						
<p><授業の概要・授業方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生物の発生組織・臓器、良性・悪性、原発性、続発性、転移性等、新生物の概要を理解するとともに、わが国における主要な新生物を中心に、新生物の多彩な診断法、治療法を学び、適切な ICD分類に結び付く基本的知識を修得する 						
<p><成績基準・評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80% 						
<p><使用問題集・注意事項></p>						
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」 						

授業科目名		臨床医学各論Ⅱ
回	授 業 内 容	備 考
1	新生物とは	
2	1. 口唇、口腔および喉頭の悪性新生物	
3	2. 消化器系の悪性新生物	
4	消化器系の悪性新生物	
5	消化器系の悪性新生物	
6	消化器系の悪性新生物	
7	確認テスト	
8	Tea Time 消化管間葉系腫瘍、GIST	
9	3. 呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物	
10	呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物	
11	確認テスト	
12	4. 骨および関節軟骨の悪性新生物	
13	5. 皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物 6. 中皮および～	
14	確認テスト	
15	7. 乳房の悪性新生物	
16	確認テスト	
17	8. 女性生殖器の悪性新生物	
18	9. 男性生殖器の悪性新生物	
19	確認テスト	
20	10. 腎尿路の悪性新生物	
21	確認テスト	
22	11. 眼、脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物	
23	12. 甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物	
24	確認テスト	
25	13. リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	
26	リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	
27	確認テスト	
28	14. 上皮内新生物 15. 良性新生物	
29	15. 良性新生物	
30	確認テスト	